

## 柏市公共交通特定事業計画

J R東日本、東武鉄道、東武バスイースト、阪東自動車、柏市

### 1 事業実施の取り組み

各事業者と市が協議・調整を図り、相互の協力のもとで一体的に事業を進めていくものとします。

原則として、基本構想における目標年次（平成22年）までに市内全ての駅のバリアフリー化を図っていくものとし、おおむね平成18年度までを前期、平成19年度から22年度までを後期とし、前期終了時に必要に応じ見直しを行うこととします。

なお、本計画は財源や周辺整備の状況等により事業内容、事業量、事業予定期間が変更となることがあります。

### 2 公共交通事業者が行う事業

#### 1) 鉄道事業者

J R東日本（柏駅、南柏駅、北柏駅）

バリアフリー法の対象となる駅の改札口からプラットフォームへは十分な通行空間を確保し、平坦性を確保します。

上記の経路において、高低差がある箇所については、エレベーターを設置します。

今後も視覚障害者誘導ブロックの設置や改善を行っていきます。

今後も路線案内、運賃案内、運行情報及び非常時の案内等を視覚情報、聴覚情報として分かりやすく提供していきます。

車いす利用者、視覚障害者などにとって使いやすい券売機への改善を順次行っていきます。

トイレの新設にあたっては多目的トイレの併設を進めます。

車いすスペース付車両の導入を進めていきます。

東武鉄道（柏駅、豊四季駅、新柏駅、増尾駅、逆井駅）

駅の出入り口からプラットフォームへの十分な通行空間の確保と平坦性の確保を進めます。

高低差がある箇所については、エレベーターまたはエスカレーターの設置を進めます。

視覚障害者誘導ブロックの設置や改善を進めます。

路線案内、運賃案内、運行情報及び非常時の案内等を視覚情報、聴覚情報として分かりやすく可能な限り提供します。

出来るところから車いす利用者、視覚障害者などにとって使いやすい券売機への改善を進めます。

身障者対応型トイレの設置を進めます。

車両への車いすスペースの設置を進めます。

## 2) バス事業者

バス停にベンチ・上屋を設置します。

ノンステップバスを増やすとともに、その運行案内情報を分かりやすく提供します。

車内での停留所案内を充実します。

高齢者・障害者等への適切な対応を図るための研修や教育・訓練を行います。

## 3) 柏市

鉄道施設整備は、公共交通事業者による整備を基本としますが、国の補助金制度によりバリアフリー施設整備を行う場合には、事業者からの申請に基づき、市の財源確保の状況に応じ、その経費の一部を補助することとします。

また、必要に応じ、事業者に代わって市が事業主体となって上記の施設整備事業を実施する場合があります。

バス事業者がノンステップバスの導入を行う場合には、市の財源確保の状況に応じ、その経費の一部を負担し、ノンステップバスの導入促進を図ります。

### 3 公共交通特定事業

これらの事業については、財源や周辺整備の状況等により計画が変更となる場合があります。

#### 1) 鉄道事業者

事業者名	東日本旅客鉄道株式会社	事業箇所		柏駅
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
十分な通行空間と平坦性の確保				実施済み
高低差箇所に昇降施設設置				実施済み
誘導ブロックの設置や改善				既存設備で不備があれば改善します
視覚・聴覚情報を提供				ホーム、改札口の案内装置で発車時刻や運行情報の案内をいたします
使いやすい券売機に改善				タッチパネル式券売機を導入済みです
障害者対応型トイレの設置				実施済み
事業実施に際し配慮すべき事項	既存設備で不備な箇所があれば改善をしていきます			

事業者名	東日本旅客鉄道株式会社、柏市		事業箇所	南柏駅
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
十分な通行空間と平坦性の確保				現在はエスカレーターで対応しております
高低差箇所に昇降施設設置	ホーム エレベーター1基 東口 エレベーター1基 エスカレーター2基 西口 エレベーター1基	平成16年度	平成18年度	自治体、国からの補助が前提となります
誘導ブロックの設置や改善				既存設備で不備があれば改善します
視覚・聴覚情報を提供				ホームの案内装置で発車時刻や運行情報を案内いたします
使いやすい券売機に改善				タッチパネル式の券売機を導入済みです
多目的トイレの併設				エレベーター設置時に検討します
事業実施に際し配慮すべき事項	既存設備で不備な箇所があれば改善をしていきます バリアフリー施設整備については、乗降人員、支社内他駅の整備進捗状況、自治体の補助により順序を定めていきます			

事業者名	東日本旅客鉄道株式会社、柏市		事業箇所	北柏駅
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
十分な通行空間と平坦性の確保				現在はエスカレーターで対応しております
高低差箇所に昇降施設設置	ホーム エレベーター1基 北口 エレベーター1基 エスカレーター2基	未定	未定	北口整備に伴い駅事務室支障移転工事が発生するため未定です
誘導ブロックの設置や改善				既存設備で不備があれば改善します
視覚・聴覚情報を提供				ホームの案内装置で発車時刻や運行情報も案内いたします
使いやすい券売機に改善				タッチパネル式券売機を導入済みです
多目的トイレの併設		未定	未定	エレベーター設置時に検討します
事業実施に際し配慮すべき事項	既存設備で不備な箇所があれば改善をしていきます バリアフリー施設整備については、乗降人員、支社内他駅の整備進捗状況、自治体の補助により順序を定めていきます 北口については、駅前広場整備にあわせて実施していく予定です			

事業者名	東日本旅客鉄道株式会社	事業箇所	車両	
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
車いすスペース付車両の導入		平成 16 年度	平成 22 年度 ( 継続 )	快速電車はほぼ完了しております 中距離電車・緩行電車においては新車投入時には導入します

事業者名	東武鉄道株式会社	事業箇所	豊四季駅	
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
十分な通行空間と平坦性の確保				不備があれば改善します
高低差箇所に昇降施設設置	上下ホーム エレベーター2基	橋上駅舎時 に対応		改札外～ホームのスロープ で対応します
誘導ブロックの設置や改善				既存設備に不備があれば改善 します
視覚・聴覚情報を提供				音響・音声案内設備は社会 動向を踏まえて検討します
使いやすい券売機に改善				1台以上設置済み 更新時に傾斜型への対応を 検討します
身障者対応トイレの設置				設置済み
事業実施に際し配慮すべき事項	エレベーターについては、国及び自治体の協力を得ながら設置 します			

事業者名	東武鉄道株式会社	事業箇所	柏駅	
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
十分な通行空間と平坦性の確保				不備があれば改善します
高低差箇所に昇降施設設置	ホーム エレベーター 1 基	平成 17 年度	平成 22 年度	エスカレーターで対応します
誘導ブロックの設置や改善				既存設備に不備があれば改善します
視覚・聴覚情報を提供				発車案内表示機を改札口、ホームに設置済み
使いやすい券売機に改善				1 台以上設置済み 更新時に傾斜型への対応を検討します
身障者対応トイレの設置				設置済み
事業実施に際し配慮すべき事項	エレベーターについては、国及び自治体の協力を得ながら設置します			



事業者名	東武鉄道株式会社	事業箇所	新柏駅	
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
十分な通行空間と平坦性の確保				不備があれば改善します
高低差箇所に昇降施設設置	ホーム エスカレーター 2 基	平成 19 年度	平成 22 年度	エスカレーターで対応します
誘導ブロックの設置や改善				既存設備に不備があれば改善します
視覚・聴覚情報を提供				音響・音声案内設備は社会動向を踏まえて検討します
使いやすい券売機に改善				1 台以上設置済み 更新時に傾斜型への対応を検討します
身障者対応トイレの設置		平成 19 年度	平成 22 年度	
事業実施に際し配慮すべき事項	エスカレーター・身障者対応型トイレについては、国及び自治体の協力を得ながら設置します			

事業者名	東武鉄道株式会社		事業箇所	増尾駅
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
十分な通行空間と平坦性の確保				不備があれば改善します
高低差箇所に昇降施設設置	上下ホーム エレベーター2基 東口・西口 エレベーター2基	平成19年度	平成22年度	ホームにエスカレーター、改札外～ホームのスロープで対応します
誘導ブロックの設置や改善				既存設備に不備があれば改善します
視覚・聴覚情報を提供				音響・音声案内設備は社会動向を踏まえて検討します
使いやすい券売機に改善				1台以上設置済み 更新時に傾斜型への対応を検討します
身障者対応トイレの設置		平成19年度	平成22年度	
事業実施に際し配慮すべき事項	エレベーター・身障者対応型トイレについては、国及び自治体の協力を得ながら設置します			

事業者名	東武鉄道株式会社		事業箇所	逆井駅
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
十分な通行空間と平坦性の確保				不備があれば改善します
高低差箇所に昇降施設設置	上下ホーム エレベーター2基 東口・西口 エレベーター2基	平成18年度	平成19年度	ホームにエスカレーター、改札外～ホームのスロープで対応します
誘導ブロックの設置や改善				既存設備に不備があれば改善します
視覚・聴覚情報を提供				音響・音声案内設備は社会動向を踏まえて検討します
使いやすい券売機に改善				1台以上設置済み 更新時に傾斜型への対応を検討します
身障者対応トイレの設置		平成18年度	平成19年度	
事業実施に際し配慮すべき事項	エレベーター・身障者対応型トイレについては、国及び自治体の協力を得ながら設置します			

事業者名	東武鉄道株式会社		事業箇所	車両その他
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
車いすスペース付車両の導入		平成16年度	平成22年度	設置率30%を目標に新造・改造を進めます

2) バス事業者

事業者名	東武バスイースト株式会社	事業箇所		-
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
ノンステップバスの導入	59両	平成16年度	平成22年度	自治体、国からの補助が前提となります 事業量は増車を継続検討
バス停に上屋の設置	2基	平成16年度	平成17年度	道路状況を勘案し、18年度以降も設置を検討
運行案内情報の充実	インターネット時刻表へのノンステップバスの運行表示	未定	未定	バス停へのノンステップバスの運行表示は実施済み
停留所案内の充実				実施済み
研修や教育・訓練の実施		継続	継続	研修や教育・訓練を継続して実施
事業実施に際し配慮すべき事項	バス停のベンチ・上屋の設置は、道路管理者、交通管理者との調整が必要となる。			

事業者名	阪東自動車株式会社		事業箇所	-
事業の内容	事業量	実施予定期間		記 事
		着 手	完 了	
ノンステップバスの導入	28両	平成16年度	平成22年度	自治体、国からの補助が前提となります
バス停に上屋の設置	1基	平成16年度		道路状況を勘案し、17年度以降も設置を検討
運行案内情報の充実	バス停へのノンステップバスの運行表示	平成16年度	平成22年度	
停留所案内の充実				実施済み
研修や教育・訓練の実施		継続	継続	研修や教育・訓練を継続して実施
事業実施に際し配慮すべき事項	バス停のベンチ・上屋の設置は、道路管理者、交通管理者との調整が必要となる。			